

■ 北方資料室 ■

北方資料

当図書館には、北海道のほか樺太、千島列島、アリューシャン列島、ロシア極東地方、シベリア・アラスカ・北氷洋など北太平洋とユーラシア北部の全域にわたる文献を網羅的に収集管理するために「北方資料室」がおかれている。このような北方地域の全分野に関する文献を収集している機関は国内には他に見られずその収書は当館のユニークな蔵書の一つとなっている。

「北方資料室」が開室したのは昭和42年6月のことであるが、その歴史は昭和12年10月に全学的な研究機関として設置された「北方文化研究室」にまで遡ることができる。この研究室が昭和41年「文学部附属北方文化研究施設」に改組され閉室した際、当館がその収集資料を引き継ぎ、これに札幌農学校以来蓄積されてきた図書館所蔵の北方資料を合体して「北方資料室」を開設したのである。

その後「北方資料室」には開拓使仮学校、札幌農学校以来の北海道大学の文書、出版物、写真その他の記念物を保管する「北海道大学沿革資料室」が併設され、本資料室は北方資料のみならず北海道大学に関する資料の宝庫となっている。

図書（和書）	31,286冊	地図・図類	5,000枚
（洋書）	8,715冊	開拓使外国人関係書簡	5,000通
パンフレット	12,400冊	北海道関係写真	5,600枚
写本類	4,500冊	「ユーカラ」レコード	180枚
漁場関係旧家資料（簿書）	850冊		
（一枚物）	3,700点		

（平成18年3月31日現在）

北方資料データベース

平成5年度から科学研究費補助金により、附属図書館北方資料室に所蔵する旧記（写本、木版本）、地図・図類、古写真、外国人書簡等の資料をデータベース化している。

このデータベースは、文献目録情報と画像情報を統合的に検索・表示するシステムで、インターネットを通じて当図書館ホームページで公開している。

また、平成18年3月から現「北方資料データベース」の次期バージョンとして「北海道大学北方関係資料総合目録(β版)」を試験公開している。(β版)には、平成17年度の科学研究費補助金により「北海道関係資料パンフレット」、「高倉文庫パンフレット」をデータベース化し追加している。

区 分	文字データ件数	画像データ件数	総データ件数
日本北辺関係旧記目録	5,281	198,132	203,413
開拓使外国人関係書簡目録	5,050		5,050
北海道関係地図・図類目録	8,155	5,482	13,637
明治大正期北海道写真目録	18,307	6,164	24,471
旧外地関係資料目録	7,937		7,937
北海道関係資料パンフレット	8,566		8,566
高倉文庫パンフレット	2,834		2,834
計	56,130	209,778	265,908

(平成18年3月31日現在)

